

# 中小企業動向 トピックス

## 中小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により 厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

### 「全国中小企業動向調査・中小企業編」結果概要 〔2022年1-3月期実績、4-6月期および7-9月期見通し〕

当公庫ではお取引先のご協力を得て、2022年3月中旬に「全国中小企業動向調査・中小企業編」を実施しました（調査対象12,392社、有効回答企業数5,421社、回答率43.7%）。

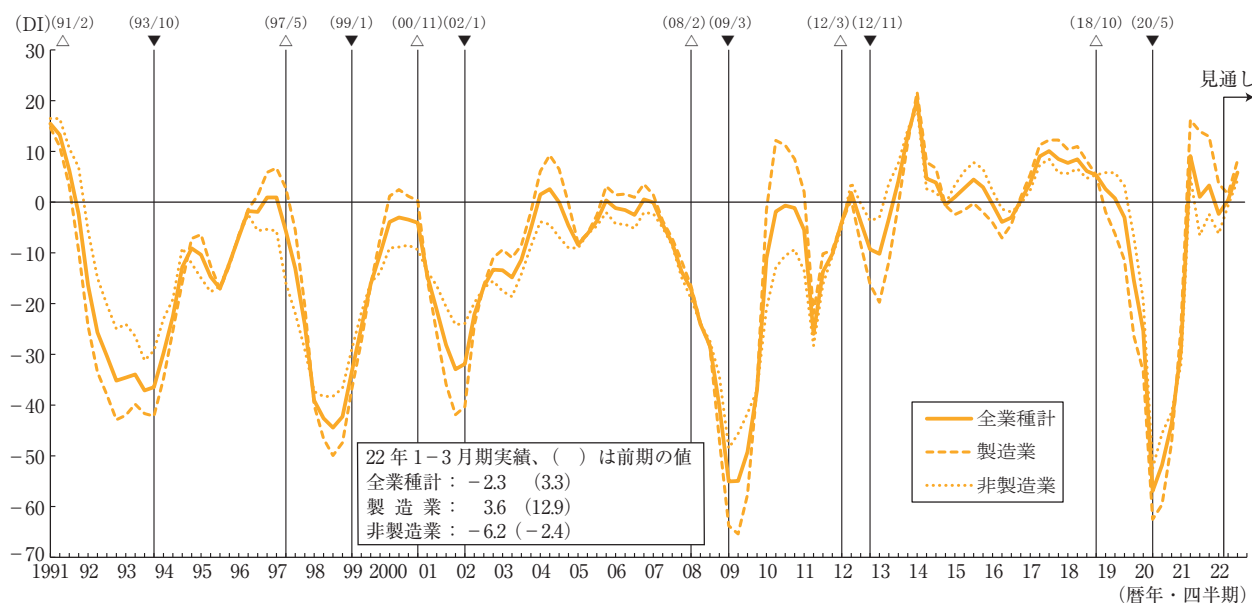
今期の業況判断DIは、前期から5.6ポイント低下し、-2.3となりました。中小企業の景況は、依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きがみられます。

#### 業況判断DIは4期ぶりにマイナス圏

今期（2022年1-3月期）の業況判断DIは、前期（2021年10-12月期）から5.6ポイント低下し、-2.3となりました（図-1）。低下は2期ぶり、マイナスとなったのは2021年1-3月期以来のことです。業種別にみると、製造業は前期から9.3ポイント低下し3.6に、非製造業は前期から3.8ポイント低下し-6.2になりました。

先行きをみると、来期（2022年4-6月期）は0.4、来々期（2022年7-9月期）は5.8と、それぞれ上昇を見込んでいます。

図-1 業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」-「悪化」企業割合、季節調整値）



資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査・中小企業編」（以下同じ）

（注）△は景気の山、▼は景気の谷を示す（以下同じ）。

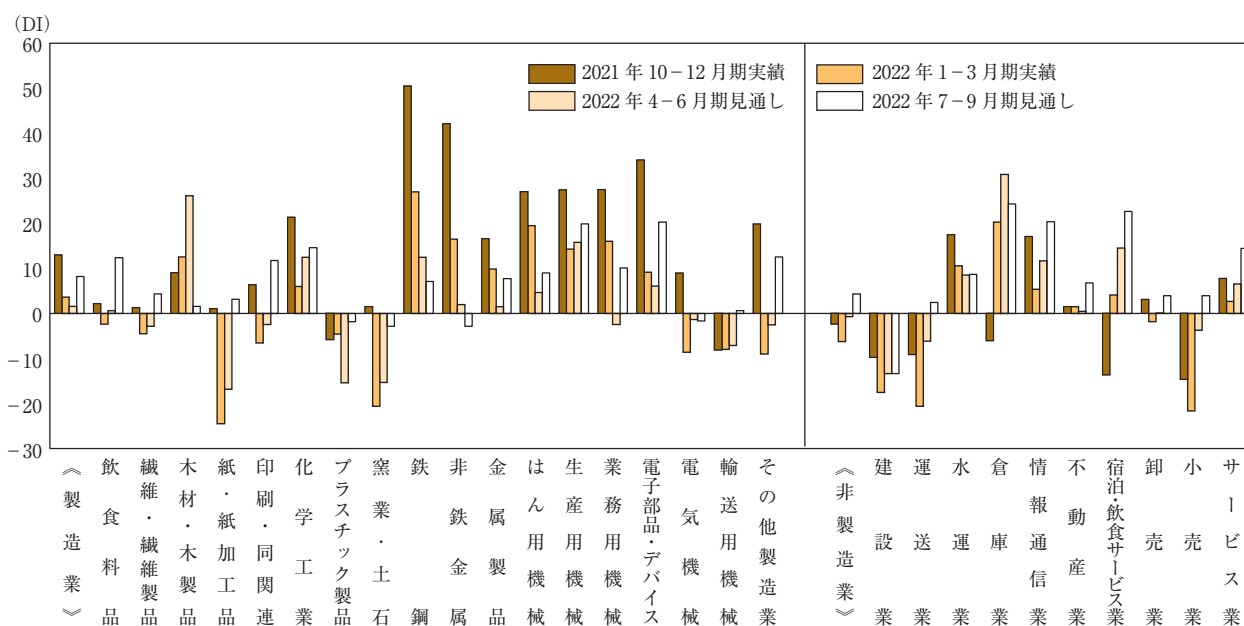
## 大半の業種で業況が悪化

さらに細かい業種別に業況判断DIをみていきましょう。今期のDIは、製造業は18業種中15業種で、非製造業は10業種中7業種で、前期と比べて低下しました（図-2）。

製造業では、原材料価格やエネルギー価格の上昇の影響で、鉄鋼や非鉄金属、紙・紙加工品などの業種のDIが低下しています。

非製造業でも、価格上昇の影響で運送業や建設業のDIが低下しています。また、新型コロナウイルスの感染者の増加で、消費が手控えられたため、小売業やサービス業が低下しています。宿泊・飲食サービス業は、飲食店は悪化したものの、宿泊業が改善したため、上昇しました。

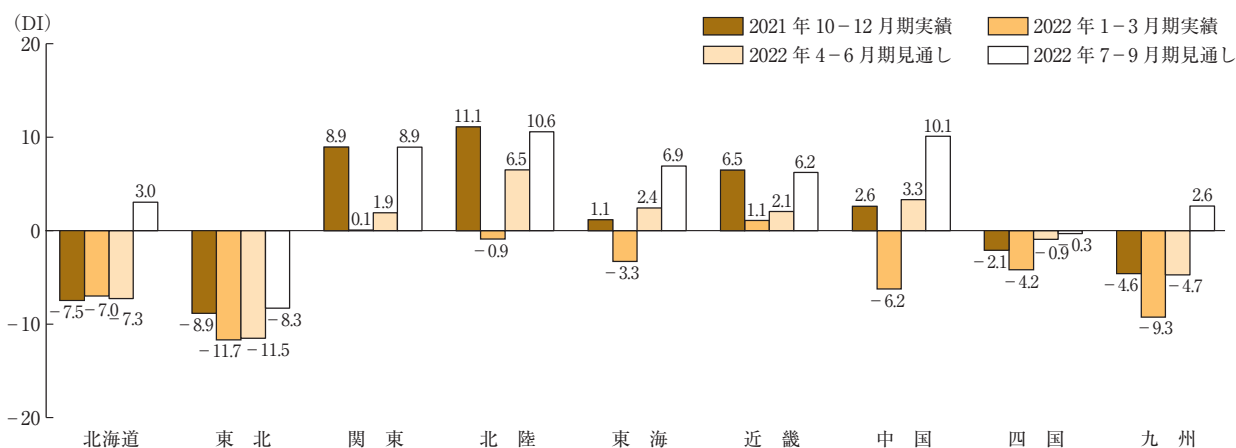
図-2 業種別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」－「悪化」企業割合、季節調整値）



## 北海道以外の地域で業況判断DIが低下

地域別にみると、今期は、北海道以外の8地域で業況判断DIが低下しました（図-3）。水準が一番低いのは東北（-11.7）でした。来期は、北海道以外の8地域で上昇する見通しです。

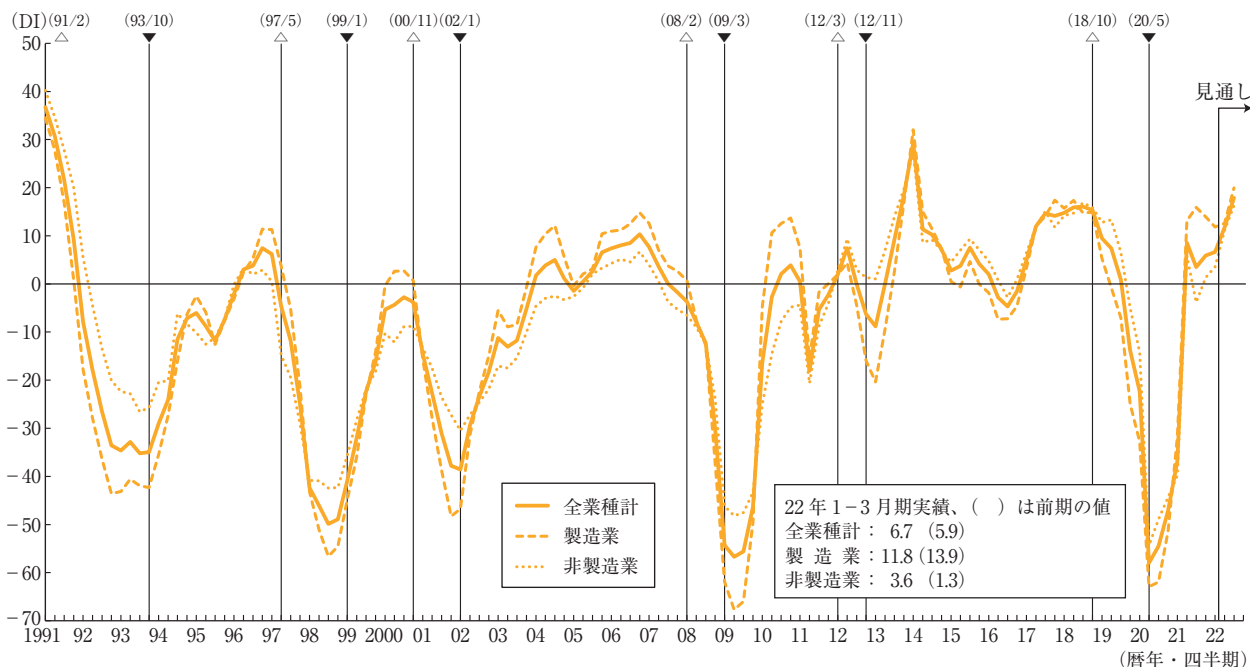
図-3 地域別業況判断DIの推移（前年同期比で「好転」－「悪化」企業割合、季節調整値）



## 売上DIは2期連続の上昇

今期の売上DIは、前期から0.8ポイント上昇し、6.7となりました（図-4）。2期連続の上昇です。来期は11.7に上昇し、来々期は17.9とさらに上昇する見通しです。

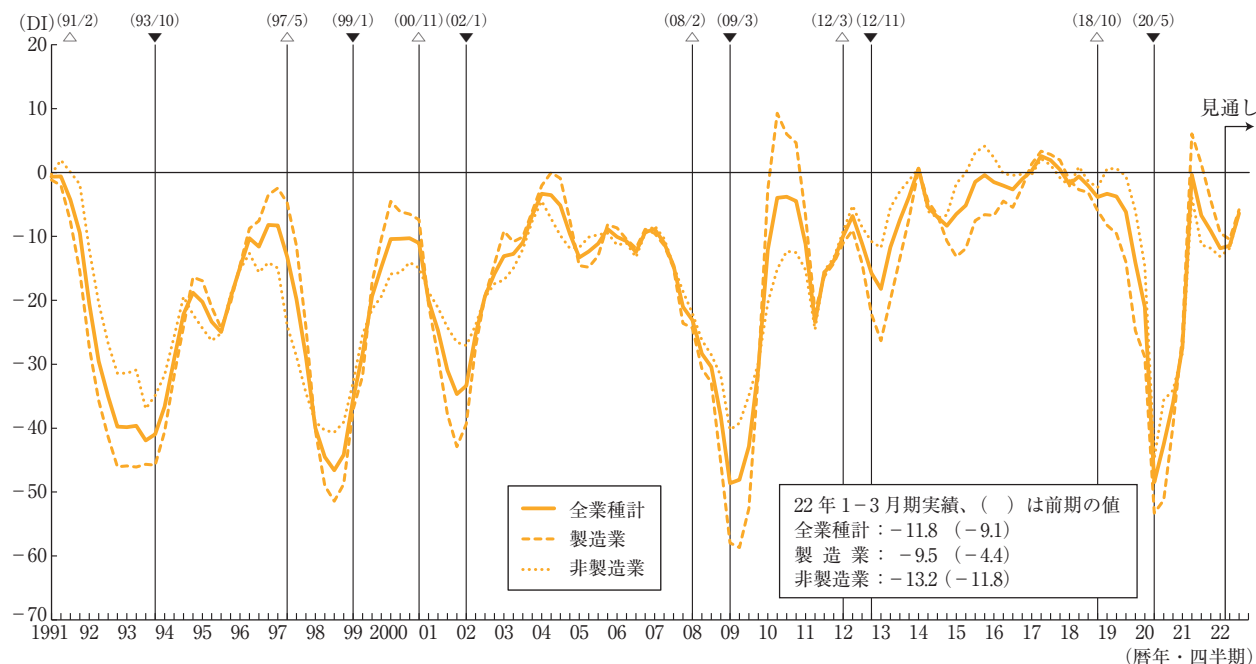
図-4 売上DIの推移（前年同期比で「増加」－「減少」企業割合、季節調整値）



## 純益率DIはマイナス幅が拡大

今期の純益率DIは、前期からマイナス幅が2.7ポイント拡大し、-11.8となりました（図-5）。売上DIは上昇したものの、原材料価格やエネルギー価格の上昇により、利益は減少しています。来期は-11.5とわずかにマイナス幅が縮小する見通しです。

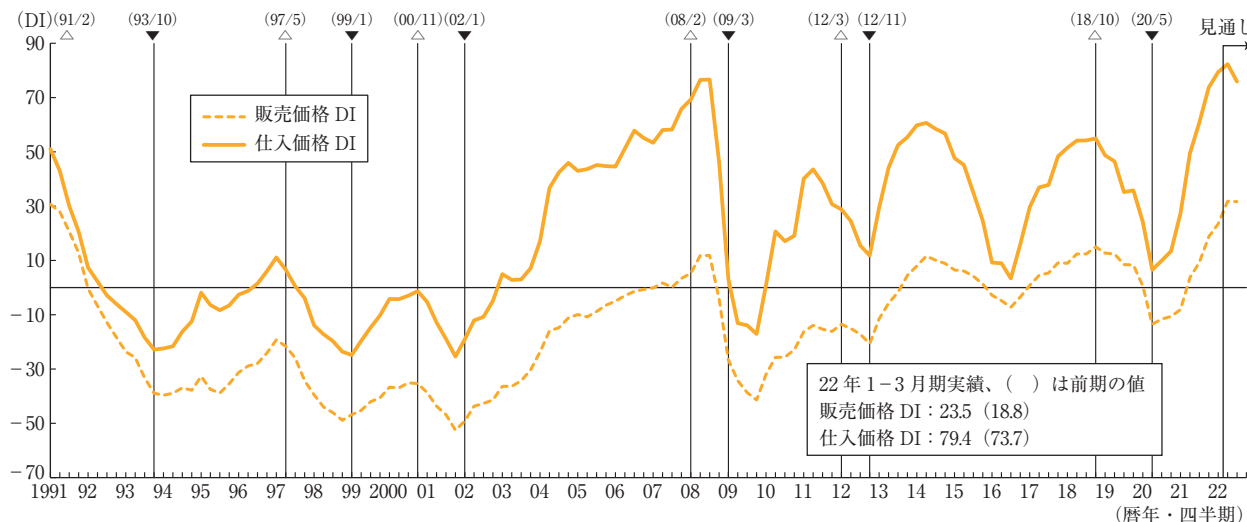
図-5 純益率DIの推移（前年同期比で「増加」－「減少」企業割合、季節調整値）



## 仕入価格 DI は過去最高を更新

販売価格 DI は前期から 4.7 ポイント上昇し、23.5 となりました（図-6）。仕入価格 DI は前期から 5.7 ポイント上昇し、79.4 となりました。原材料価格やエネルギー価格の上昇で、仕入価格 DI は比較可能な 1981 年以降の最高値の 76.6（2008 年 7-9 月期）を上回りました。来期は 82.3 と、さらに上昇する見通しです。

図-6 販売価格 DI と仕入価格 DI の推移（いずれも前年同期比で「上昇」-「低下」企業割合、原数値）

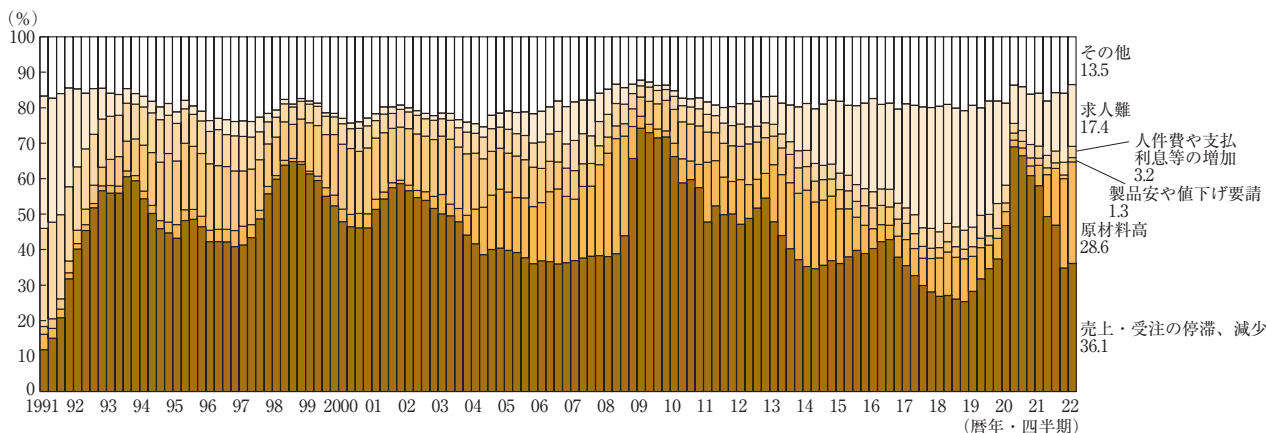


## 求人難、原材料高の割合が上昇

当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」と回答した割合が 36.1% と最も高く、次いで「原材料高」（28.6%）、「求人難」（17.4%）と続きます（図-7）。「原材料高」は前期に比べ 3.4 ポイント上昇し、「売上・受注の停滞、減少」は 1.3 ポイント上昇しました。

今回の調査では、原材料価格やエネルギー価格の高騰で仕入価格 DI が過去最高を更新するなど、収益環境に悪化がみられます。新型コロナウイルスも収束の兆しがみえないなかで、中小企業の景況は先の見通せない状況が続いています。（小針 誠）

図-7 当面の経営上の問題点の推移



「中小企業動向トピックス」に関するご意見・ご要望等ございましたら、本支店窓口までお問い合わせください。

発行：日本政策金融公庫 総合研究所 ～ホームページ <https://www.jfc.go.jp/> ～